

平成21年生駒市教育委員会第2回臨時会会議録

1 日 時 平成21年5月19日(火) 午後4時

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

(1) 新型インフルエンザについて

4 出席委員

委員長	中 井 公 人	委 員(委員長職務代理者)	村 田 浩 子
委 員	平 本 重 次	教育長	早 川 英 雄

5 欠席委員 なし

6 事務局職員出席者

教育総務部長	大津輪 幹 夫	生涯学習部長	長 田 二 郎
教育総務課長	峯 島 妙	生涯学習課長	奥 村 直 幸
教育指導課長	西 井 久 之	スポーツ振興課長	中 井 宏
教育総務課長補佐	辻 中 伸 弘	教育指導課課長補佐	井 上 廣
教育指導課指導主事	松 田 由起子	書記	楠 下 崇 子

7 その他(出席者)

生駒市長 山下 真

午後4時 開会

○中井委員長：ただ今から、平成21年生駒市教育委員会第2回臨時会を開催いたします。本日は、新型インフルエンザへの対応の状況と、今後の方針について審議するものです。

それでは、本日までの経過等について報告してください。

~~~~~

○大津輪部長：新型インフルエンザの対応についてご報告いたします。5月17日(日)から電話やFAXで連絡を取らせていただいておりますが、神戸市での新型インフルエンザの発生を受けて、5月16日(土)に県教委から連絡があり、それに基づき5月17日(日)の午前9時から臨時校園長会を開催しました。4月28日(火)、5月7日(木)には、学校を通じ各保護者に対し、うがい、手洗いの徹底と学校としてもマスク、手袋の準備をお願いしておりましたが、保護者を通じて子どもの健康状態を確認、学校へ連絡するとともに、疑わしい症状がある場合は18日(月)は出席停止(自宅待機)を求め、お手元の資料にありますように18日、19日と欠席者の調査を行っています。

また、神戸、大阪方面への遠足等は中止とし、スポーツ等の各種学校行事による交流事業は、各々の判断との連絡があったほか、状況が変わり休校することになった場合に備え、家庭への指示や自宅学習の課題等、検討しておくようにとのことでした。

幼児・児童・生徒の出欠状況ですが、18日の欠席者はやや多いように見受けられましたが、学校医から欠席者へ直接、若しくは間接の電話による問診を行った結果、19日は欠席者がやや減少しております。おそらく、大事を取って欠席させたところ、学校医の問診により、心配がない子どもについては登校するに至ったものかと推測され、保護者も慎重な対応をしていただいたものと考えています。

また、近々東京方面への修学旅行を控えている中学校が2校ございますが、今のところは実施する方向で考えておりました。今後の様子を見守りながら対応してまいりたいと考えております。

○早川教育長：ただ今、秘書課を通じて生駒市健康危機対策会議の会長でもある山下市長が教育委員の意見を聞くため、出席したいとの申し出がありました。よろしいでしょうか。

《 異議なし 》

《 市長入場 》

○山下市長：今後、政府の対応が緩和されるのではないかという報道もありますが、神戸市や大阪府内の各市町村では、学校の休校について対応が分かれています。奈良で感染が確認された場合、県教委からどのような指示が来るか分かりませんが、例えば中・

高を休校するようにとの指示があった場合、生駒市教育委員会として県の指示どおりなのか、市独自に、幼稚園、小学校も休校・休園にするのかなど、市教委の対応について、教育委員の皆さんの意見をお聞きしたいと思ひ出席させていただきました。

○早川教育長：生駒市内で感染が確認されたら、ということですか。

○中井委員長：中学・高校が休みなのに、抵抗力の弱い、幼稚園、小学校を開けるということはどうかと思う反面、保護者の仕事の関係もあり、判断が難しいところです。子どもの活動範囲も考えねばなりませんし。

○山下市長：神戸市の例では、スポーツ交流の場で感染している確率が高いとされ、中・高校はクラブ活動等、行動範囲が広く感染の確率が高いので休校となったといわれていますが。

○西井課長：仮に奈良市で感染が確認され、奈良市内の学校が休校になったとしたら、生駒市では学校は休校にしないが、保護者の多くは大阪方面へ通勤しているわけです。今後、厚生労働省の基準が緩和されれば話は別ですが、感染防止ということを考えるのであれば、市内ではなくても近隣市町村で感染が確認されれば、休校も考慮すべきではないでしょうか。

○山下市長：休校が無難だということは分かりますが、市としては、保育所は開けたいと考えており、そうなると、学童はどうするかという問題が出てきます。小学校が休校なのに、学童は開けるのかという矛盾が生じます。

○村田委員：報道を見ている、仕事を持つ保護者のために、保育所は是非開けていただきたいと思ひます。

○平本委員：共働きの親は多いですし、休校にしても留守家庭の子どもは、食事のことなども心配です。

○西井課長：兄弟のこともあるので、中・高が休みで小学校を休校にしないというのは、心配がないわけではありません。

○峯島課長：季節的には、冬も心配されますので、今回の対応が、今後一つの基準になるかもしれません。慎重に対応したいと思ひます。

○大津輪部長：緊急のことですし、共働きの世帯が多く、家庭・経済の関係への影響を考えれば、小学校は休校でも、学童だけ開けるということは理解を得られるかもしれま

せん。人数も、全員でなければ健康状態の状況把握もしやすいと思います。

幼稚園は、基本的に保育に欠けないことが前提ですので、休園しても対応していただけると思います。

ただ、弱毒性ではないか、といわれていますが、糖尿病などの既往歴があると重症化するという報道もあり、子どもを介して大人に感染することも考えられます。やはり、感染を最小限にとめられるようにするべきだと思います。

○山下市長：では、市教委としては、仮に中学・高校の休校要請があったとしても、幼稚園・小学校・中学校すべて休園・休校ということですね。ただ、保護者の就労のこともあるので、学童を開けることはできるだろうということですので、仮に、学童を開けるとして、指導員の問題ですが、急なことですし、人手が必要になりますので、教育委員会として協力していただくことは可能ですか。

○西井課長：難しい問題です。原則として休校で自宅待機ですので、学校へ出てきて学童以外で学校施設を使用するということはどうでしょうか。休みとはいえ、課題を出して自宅学習となっていますので、不公平が生じないようにしなければなりませんし。

○早川教育長：難しいですが、学校の図書室等を利用してもらい、その間、様子を見るということであれば、協力できるかもしれません。

○長田部長：学童に開放するというのなら体育施設もありますし、指導員についても、放課後子ども教室や体育館の指導員さん、スポーツボランティアの方もいらっしゃるので、今後の動向を見守りながら、学校や先生だけでなく、そういったことも含めて、対応を考えていってはどうでしょうか。

○山下市長：では、もしもの時には、ご協力よろしく申し上げます。私は、ここで退席させていただきます。

#### 《 市長退席 》

○中井委員長：弱毒性だといわれていますし、これから数日の間に、厚生労働省の方針が変わり普通のインフルエンザと同様の対応でいいとなれば、対処もかわるのですが。

○長田部長：弱毒性とはいえ、感染力が高いのは事実ですから、感染が学校であっても事業所であっても、その後どこで誰と接点を持っているか分からないので、現段階では感染防止を第一に考えるべきだと思います。

○早川教育長：そうですね。事業所でも学校でも市内での発生が確認されれば、保護者

の就労や子どもたちの活動範囲等を考慮し、感染防止のため一斉に休園、休校すべきでしょう。

○中井委員長：では、学校以外の各施設についても、説明をお願いしますか。

○長田部長：生涯学習部の対応についてですが、スポーツ交流から感染が広がっていることから、市内で感染が確認されたら、体育施設は使用中止にしたいと考えています。他市の対応も確認しましたが、同じような対応を考えているようです。

次に、文化施設は使用者に自粛要請を行い、学校が休校ということですので、当然、幼稚園、小・中学校へ通われる子どもさんについても、使用は控えていただきます。

保護者の方がお子さんを連れてこられたら、ご協力いただくようお願いすることになると思います。

なお、市の主催イベントは教室・講座等も含めてすべて中止でございます。これは、教育委員会所管のものだけでなく、全市的な対応でございます。

生涯学習部の関係では、保育所や学童の問題と異なり、市民の経済活動にそれほど影響は出ないと思いますので、感染防止に重点を置いて考えていきたいと思っております。

○中井委員長：以上が、現段階での教育委員会としての考え方ということでよろしいですか。

○大津輪部長：今後、状況が変わったり、国や県の方針が変わることもあると思っておりますので、その都度、電話やFAX等でご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○中井委員長：本日は、これにて閉会いたします。

~~~~~

午後5時35分 閉会